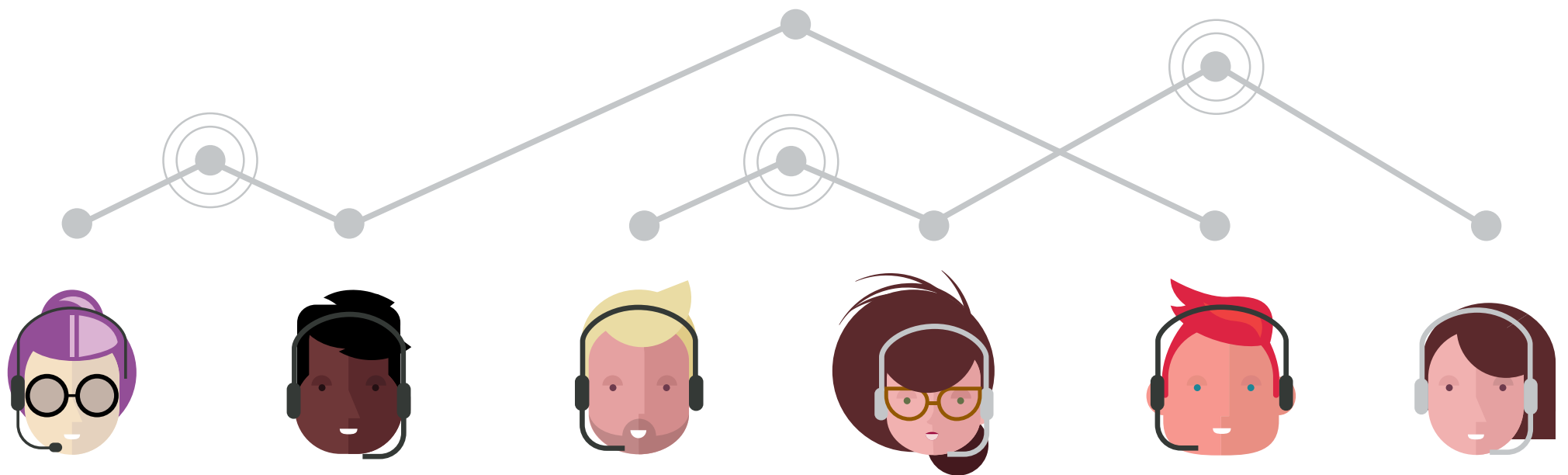


ヘッドセットを上手にを使って 効率的なビジネス環境を実現しよう

ペースの速い、競争の激しいビジネス環境では、従業員は効率的なコミュニケーションを行うための適切なツールが必要です。パソコンヘッドセット、特にビデオコラボレーション（VC）対応のヘッドセットが卓上電話よりも普及しているのはこのためです。



VC対応のヘッドセットが上昇傾向に

20.4% CAGR収益成長率

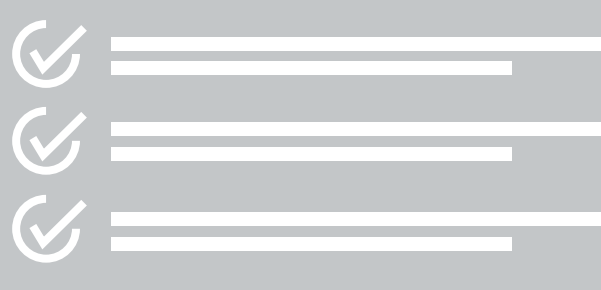
23.1% CAGRユニット発送の増加率

適切なパソコンヘッドセットで作業をするメリット：

ヘッドセットは生産性を促進します。

実際、企業は、VCアプリケーションと共にヘッドセットを導入する時、デバイスとアプリケーション両方の観点から投資収益率（ROI）が高くなることに気付いています。

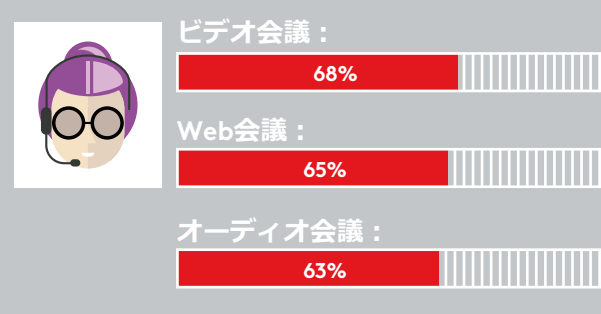
TO DOリスト



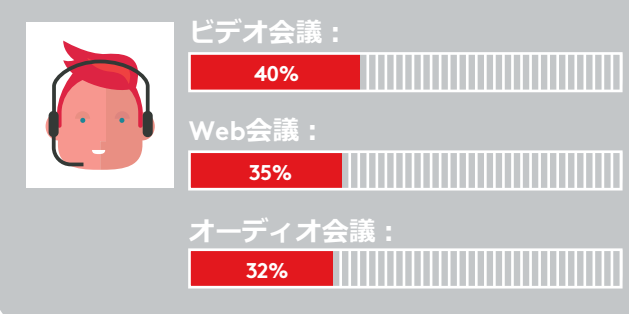
ヘッドセットを使わないレジワーカー*と比較し、ヘッドセットユーザーは他のVCテクノロジーを最高2.5倍多く利用しています。

* 専門的な知識によって企業や社会に付加価値のある知的生産物を生み出していく労働者

現在ヘッドセットを使用しているユーザー



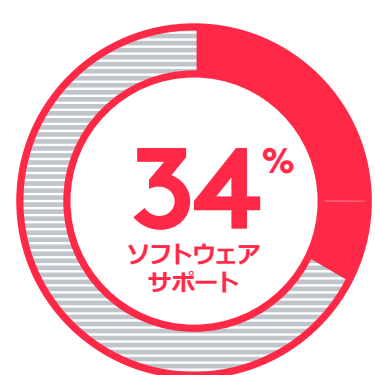
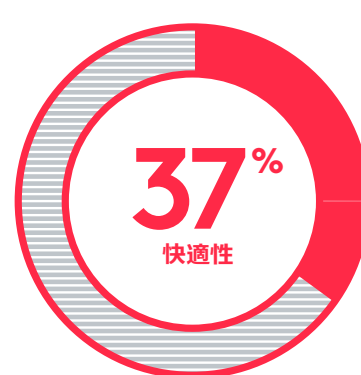
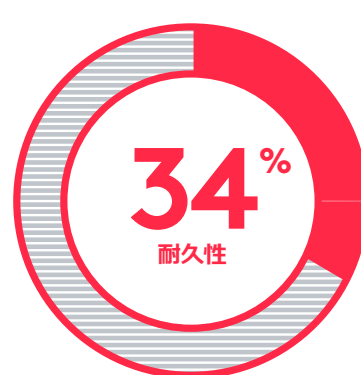
ヘッドセットを使用しないユーザー



一般消費者向けのヘッドセットの短所：



一般消費者向けのヘッドセットが以下の領域で不十分であると感じているヘッドセットユーザーの割合

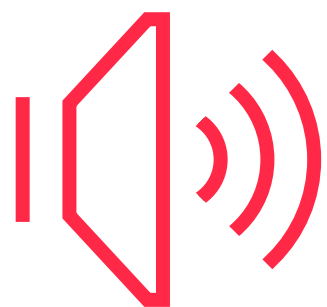
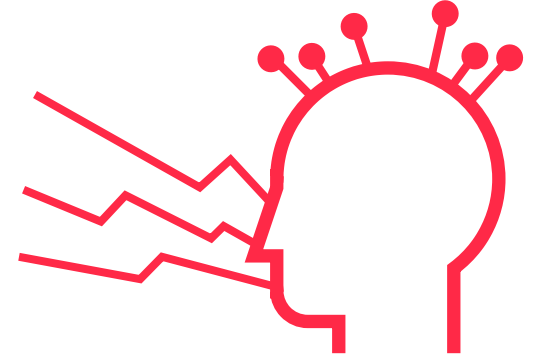


多くの一般消費者向けのヘッドセットは長時間使用向けに作られていません

一般消費者向けのヘッドセットは、企業レベルで必要とするVCの質を担保することは難しく、生産性とVC製品利用率の低下につながります。

従業員：快適性が低いです

一般消費者向けのヘッドセットは長時間使用向けに作られていないため、従業員をいらさせます。

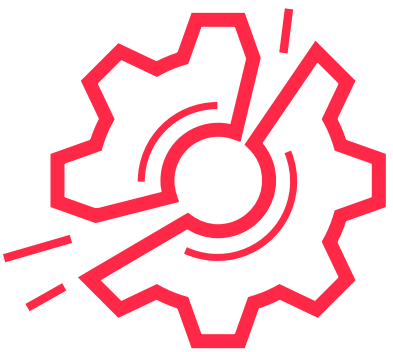


従業員：使い勝手があまりよくありません。

一般消費者向けのヘッドセットには、通話コントロール（音量やミュートなど）への便利なアクセス、または入電を聞き漏らさないように入電の視覚的合図を送るLED通話インジケータなど、従業員が必要とするビジネス機能がありません。

従業員：生産的ではありません

一般消費者向けのヘッドセットは、多くの場合、Microsoft® Lync®やCisco Jabber®などのVCプラットフォームとの互換性が保証されません。これにより音質が悪くなり、会議の参加や生産性が影響を受ける可能性があります。



従業員：すぐに故障します

耐久性のない一般消費者向けのヘッドセットは、交換や故障につながります。



75%を超える企業がすでに、パソコンベースのソフトフォンで労働力を最適化するために、卓上電話をヘッドセットに交換しています。



信頼できるビジネスグレードのヘッドセットは、作業空間と要件を考慮して設計されています。

エンドユーザーの体験が何よりも重要です。
これが積極的なコラボレーションです

ビジネス品質のツールへの投資がROI（投資収益率）の向上にどのようにつながるかをご紹介します。

www.info.logicool.co.jp/entry-level-headsets-matter

出典：
1. ビジネス用途に適したヘッドセットを調査：コストとパフォーマンスは重要である www.info.logicool.co.jp/entry-level-headsets-matter
2. 米国における職場調査（2013年） www.gensler.com/uploads/document/337/-file/2013_US_Workplace_Survey_07_15_2013.pdf

logicool